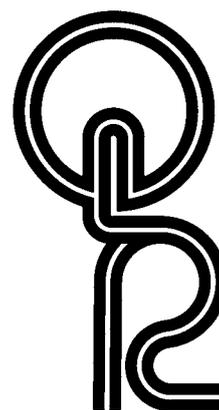


QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 25 No.3, 2018



東京都東村山市下宅部(しもやけべ)遺跡出土かごの復元実験。縄文時代後期(約3500年前)の出土かごを当時の素材(アズマネザサ)と技法で復元することにより、素材の生育年数や採取時期が厳密だったことが体感できる(復元:あみもの研究会)。(佐々木由香)

Vol. 25 No. 3

June 1, 2018

2018年大会案内(第5報)..... 2	学生会員継続届提出のお願い..... 7
ミニシンポジウムの案内..... 6	会員消息..... 7
評議員会の案内..... 6	

◆日本第四紀学会 2018年大会案内(第5報)

本大会は、一般研究発表(口頭およびポスター)とシンポジウム「自然環境と人類の将来予測に向けた第四紀学の最先端:各領域分野の最新動向とその共有・発展をめざして」を中心に開催いたします。

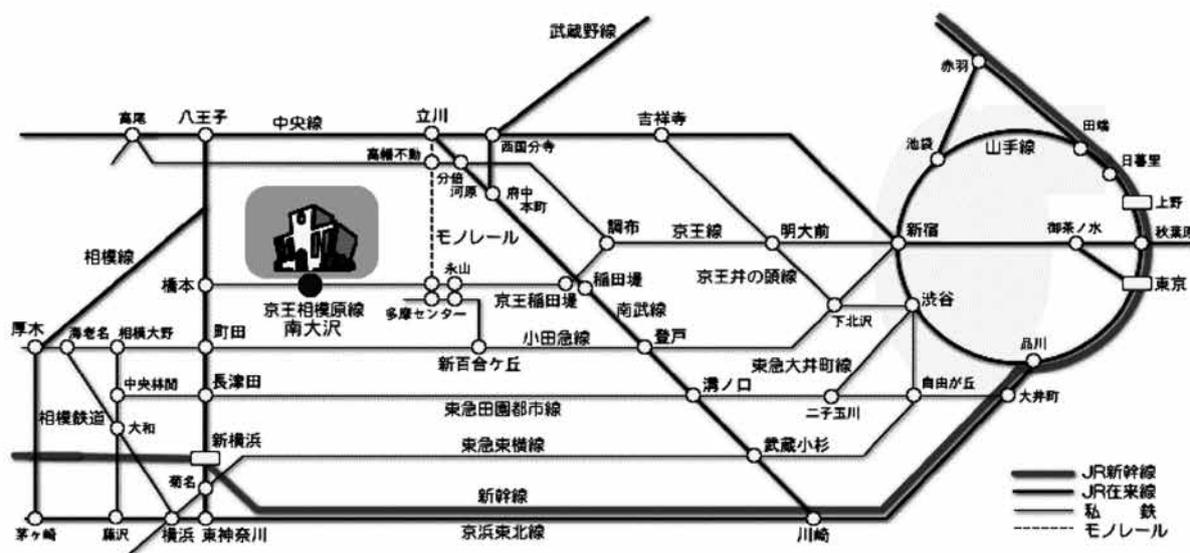
1. 大会テーマ 「自然環境と人類の将来予測に向けた第四紀学の最先端」

2. 開催場所 首都大学東京南大沢キャンパス 講堂・7号館スタジオ
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

https://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html

アクセス 京王相模原線「南大沢」駅下車、改札口から徒歩5分。

改札口を出て右手側にキャンパスが見えます。車による会場への来訪はできません。



首都大学東京南大沢キャンパス最寄り駅の南大沢駅周辺の路線図

3. 開催日程 2018年8月24日～8月28日

8月24日(金) 一般研究発表(口頭およびポスター)、評議員会

8月25日(土) 一般研究発表(口頭およびポスター)、総会・各賞授賞式、懇親会

8月26日(日) シンポジウム

8月27日(月)～28日(火) 巡検「伊豆諸島、新島火山の地形・地質と噴火史」(1泊2日)

4. 各種締め切り日

・一般研究発表の申し込み・講演要旨原稿提出:6月22日(金)17時

・シンポジウムの講演要旨原稿提出:6月22日(金)17時

・巡検参加申し込み:7月27日(金)17時

・懇親会事前予約:8月10日(金)17時

5. 一般研究発表:口頭発表・ポスター発表はそれぞれ1会場で開催します。

6. シンポジウム「自然環境と人類の将来予測に向けた第四紀学の最先端:各領域分野の最新動向とその共有・発展をめざして」

日本第四紀学会では、2017年度から領域を中心とした活動に移行しました。各領域内での集中的な討論、連携が開始されつつあります。一方で分野横断的な性格をもつ第四紀学会では、本大会などを通じて諸研究分野の動向、とくに最新成果を共有することにより各領域ならびに全体の発展が期待できると思われま

す。このような趣旨に立ち、本シンポジウムは以下に示すように各領域から趣旨に即した話題提供から構成されます。

【領域1】

長谷川 精(高知大学工学部).....湖成年編から読み解く白亜紀無氷床時代の気候安定性
 吉森正和(北海道大学大学院地球環境科学研究院).....北極域の温暖化予測において第四紀研究の果たす役割と可能性について
 高柳栄子(東北大学理学研究科).....ネオジム同位体比による第四紀古環境復元の新たな展開
 北場育子(立命館大学古気候学研究センター).....マヤ低地年編堆積物の超高解像度編年と「体感できる」気候変動
 山本正伸(北海道大学大学院地球環境科学研究院).....別府湾堆積物記録からみた過去の気候と気象災害

【領域2】

藤原 治(産総研)・杉山浩平(東京大学大学院総合文化研究科).....趣旨説明:洞窟考古・地震学の展開
 土井翔平(文京区教育委員会)・杉山浩平(東大総合文化).....白石洞穴遺跡の遺物と遺構
 米田 穰(東京大学総合研究博物館).....白石洞穴遺跡の年代学的検討と古人骨の化学分析
 黒住耐二(千葉県立中央博物館)・高橋 健(横浜市歴史博物館).....白石洞穴遺跡出土具類と貝製品について
 池谷信之(明治大学黒耀石研究センター).....白石洞穴遺跡および周辺洞穴遺跡出土の弥生土器の胎土分析
 上本進二(神奈川災害考古学研究所).....白石洞穴遺跡の堆積土の構成物
 藤原 治(産総研).....白石洞穴遺跡の堆積物に記録された大波の記録(関東地震との関連)

【領域3】

中川 毅(立命館大学古気候学研究センター).....タイトル未定
 坂田周平(学習院大).....第四紀ジルコン U-Th-Pb 系年代の層序学への応用:放射非平衡効果と非放射壊変起源鉛の取扱い
 田村 亨(産総研).....関東平野の隆起はいつ始まったか?(仮題)

【領域4】

松井哲哉(森林総研).....最終氷期最盛期の植生一種分布予測モデルからのアプローチ
 津村義彦(筑波大学).....最終氷期最盛期の植生—現生集団を用いた分子遺伝学的アプローチ
 高原 光(京都府立大学)・百原 新(千葉大学).....最終氷期最盛期の植生—古生態学的データを用いたアプローチ

7. 巡検(協力:新島村博物館)

名称:伊豆諸島、新島火山の地形・地質と噴火史

日程:2018年8月27日(月)~28日(火)

案内者:鈴木毅彦(首都大学東京 都市環境学部)※責任者

小林 淳・村田昌則(首都大学東京 火山災害研究センター)

西澤文勝(山梨県富士山科学研究所)

集合(8月27日):

- ① 9:20 新島空港ターミナル前(8:30 調布空港発—9:10 新島空港着)
- ② 9:45 新島港(ジェット船:前浜港/渡船根港)(7:20 東京竹芝発—9:40 新島港着)
 ※ 7:30 新島港着の大型客船(東京竹芝 23:00(前日)発)での移動も可能です。

解散(8月28日):

- ① 13:50 新島空港ターミナル前(14:25 新島空港発—15:05 調布空港着)
- ② 15:00 新島港(前浜港/渡船根港)(15:35 新島港発—17:55 東京竹芝着)
 ※ 16:55 新島空港発の飛行機(17:35 調布空港着)での移動も可能です。

注)現時点(5月7日)で飛行機のタイムテーブルが公開されておりませんので、昨年同時期のタイム

テーブルをもとに記載しました。

参加費：9,500円

※一般研究発表時(8/24、25)に会場受付にてお支払いください。現地での支払いも受け付けます。
※参加費には、宿泊費(朝夕2食分を含む)、昼食(2食分：飲み物代込)、団体旅行傷害保険代(適用区間：集合地→解散地)を含みます。バス移動・博物館使用は無料です。新島までの移動に関わる予約・費用支出は参加者個人でお願いします。

※キャンセルポリシー：【開催日前日～当日】のキャンセルに関しては、所定の参加費を徴収させていただきます(返金はいたしかねます)ので、ご了承ください。

定員：15名(5月28日(月)からの申し込み先着順：定員になり次第締め切ります)。会員・非会員からの申し込みも受付いたします。なお、巡検のみの参加の場合であっても大会参加費(会員・非会員を問わず2,000円(予定))をお支払いください。

申し込み方法：参加ご希望の方はメール件名「新島巡検_参加申込」にて、mk-kobayashi(at)tmu.ac.jp(atを@にかえる)へ、【7月27日(金)17時】までにお申し込みください。その際、メール本体には、お名前、ご所属、ご連絡先ならびに保険契約に関わる情報(性別・生年月日)、集合場所への及び解散場所からの移動方法(飛行機、ジェット船)と時間についてもご記載ください(なお、移動方法・時間のご連絡は、各交通機関への予約確定後のご連絡で構いません)。

観察地点：天候状況等により、観察場所・順序等が変更する可能性があります。

[8月27日]

各集合地(新島空港→新島港)→新島博物館へはバスで送迎いたします。

- ① 新島村博物館：巡検概要紹介、展示物見学、着替え
- ② 富士見峠展望台：新島周辺の火山島・火山地形と新島火山起源の主要テフラ
(昼食：富士見峠展望台)
- ③ 赤崎峰電波塔：赤崎峰・宮塚山溶岩ドームの地形と各溶岩ドームを被覆するテフラ層
- ④ 宮塚山ロラン周辺：後宮塚山ドーム噴出物、若郷・淡井浦起源の玄武岩質噴出物

[8月28日]

- ⑤ 大峯展望台：向山イベント噴出物(AD886)による地形と新島北部の溶岩ドーム群
- ⑥ 石山展望台：向山イベント噴出物(向山溶岩、コーガ石等)
- ⑦ 羽伏浦(シークレットビーチ)：向山イベント噴出物(羽伏浦火砕流・火砕サージ、大峰火砕丘)
(昼食：羽伏浦海岸)
- ⑧ 淡井浦海岸：AD856-857噴火：阿土山溶岩・火砕サージ、淡井浦・久田巻ベースサージ堆積物
- ⑨ 若郷渡浮根港：若郷噴火(約3000年前)によるベースサージ噴出物
予備：大三山(新島・神津島火山起源の約3万年間のテフラ層序)

[宿泊先]

民宿治五平

東京都新島村本村 5-2-8 TEL：04992-5-1797・0828 FAX：04992-5-1797

8. 発表の申し込みと講演要旨原稿の送付方法

1) 一般研究発表の申し込み

(1) 発表者の資格と発表件数の制限

一般研究発表には、口頭発表とポスター発表があります。筆頭発表者(資格は会員であること)としては、口頭発表およびポスター発表について、それぞれ1人1件の発表申し込みが可能です。

(2) 発表形式と発表時間

発表形式は、口頭発表(オーラルセッション)およびポスター発表(ポスターセッション)がありますので、発表申込用紙で希望する方を選択してください。発表件数によっては、必ずしも希望の形式にならない場合もありますので、あらかじめご了承ください。口頭発表(オーラルセッション)の時間は1件15分程度(質疑応答時間を含める)を予定しています(発表件数によって変更の可能性があります)。十分な説明や討論を希望する方にはポスター発表(ポスターセッション)への申し込みをお勧めします。またポスター発表者には、ポスターの前で説明するコアタイムを設ける予定です。

(3) 発表申込書と講演要旨の送付方法および締め切り

一般研究発表の希望者は、日本第四紀学会ホームページ(<http://quaternary.jp/index.html>)の「2018年

大会のお知らせ」にあります「発表申込書」と「講演要旨の原稿」に関するリンク部分からファイルをダウンロードし、必要事項を記入の上、以下の案内にそって申し込みを行ってください。講演申し込みと、講演要旨原稿の提出をもって受付とします。

- ・発表申込書と原稿は添付ファイルとして専用のアドレス [jaqua2018\(at\)gmail.com](mailto:jaqua2018(at)gmail.com) に送付してください(at を @ にかえる)。メール件名は「発表申込_筆頭発表者名」、添付するファイルの名前は「講演要旨_筆頭発表者名」としてください。2件申し込む場合は題名の後ろに A、B をつけて両者を区別して送信してください。受付期間は6月4日(月)から6月22日(金)の予定です。
- ・講演要旨の原稿は A4 で1ページ(図表掲載可)です。「2018年大会のお知らせ」の「講演要旨原稿の書き方及びテンプレート」にある書き方にそって作成してください。
- ・本学会員のうち2018年8月1日現在で39歳以下の方は若手発表賞に、学生・大学院生の方は学生発表賞にエントリーできます。エントリー希望の方は、申込書の該当箇所に記入してください。積極的なエントリーを期待しております。

2) シンポジウム依頼講演者の講演要旨の送付方法および締め切り

シンポジウムはすべて依頼講演形式とします。シンポジウム依頼講演者の方は、8.1) (3)「発表申込書と講演要旨の送付方法および締め切り」にしたがった形式のファイルを、専用アドレス ([jaqua2018\(at\)gmail.com](mailto:jaqua2018(at)gmail.com)) あて、電子メールの添付ファイルでお送りください。メールの題名およびファイル名は「シンポジウム講演要旨:筆頭発表者名」としてください。

9. 参加費・懇親会

- ・大会参加費(予定):2000円(会員・非会員を問わず)。会場受付でお支払いください。ただし、大学院生は1000円、70歳以上の会員、学部学生は無料です。
- ・講演要旨集:予定価格2000円(会場で直接販売。ただし、発表数等によって価格が若干変動する場合があります)
- ・懇親会に参加される方は、申し込みをお願いします。

日時:8月25日(土)18:30~(予定)

会場:首都大学東京南大沢キャンパス ルヴェソソヴェール 南大沢

参加費:一般5000円(予約)、6000円(当日)、院生・学生2500円(予約)、3500円(当日) <確認中>

予約方法:8月10日(金)17時までに e-mail: [jaqua2018\(at\)gmail.com](mailto:jaqua2018(at)gmail.com) までご連絡ください(at を @ にかえる)。申し込み時のメール件名は「懇親会_氏名」としてください。

10. 大会実行委員会および行事委員会

大会実行委員長:鈴木毅彦(首都大)

大会実行事務局長:白井正明(首都大)

実行委員:渡邊眞紀子・出穂雅実・岩瀬 彬・石村大輔・小林 淳・青木かおり・西澤文勝(以上、首都大)

行事委員会:藤原 治(産総研)・加 三千宣(愛媛大)・米田 穰(東京大)・岡田 誠(茨城大)・

山田和芳(ふじのくに地球環境史ミュージアム)

連絡先:2018年大会実行委員会事務局

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

首都大学東京大学院 都市環境科学研究科地理学教室

白井正明(TEL:042-677-1111 内線:3838)

大会用メールアドレス:[jaqua2018\(at\)gmail.com](mailto:jaqua2018(at)gmail.com) (at を @ にかえる)

◆ミニシンポジウム 「首都圏の地下を探る」

6月17日(日) 13:00～15:00

開催場所：日本大学文理学部3号館3205教室

アクセスマップ <https://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>

キャンパスマップ <https://www.chs.nihon-u.ac.jp/map/>

- ・京王線・東急世田谷線 下高井戸駅 下車 徒歩8分
- ・京王線 桜上水駅(急行停車駅) 下車 徒歩8～10分
- ・小田急線 経堂駅 下車 徒歩20～25分

<講演者>

遠藤邦彦(日本大学名誉教授)

……東京の地盤の成り立ち—東京層を中心にボーリング資料の解析等に基づいて—

中澤 努(産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報研究部門)

……首都圏の3次元地下地質情報の整備

首都圏では人工物に覆れて、私たちは足元(地面の下)にある地層に触れる機会が少なくなりました。しかし、目には見えなくても、首都圏の地下に分布する地層(特に更新世以降の地層)は私たちの生活と深くかかわっています。その地質がどのようにしてできてきたのか、また地下の地質情報がどのように整備され利用されようとしているのかについて紹介します。

◆2017年度第3回評議員会の開催について

下記の日程で、日本第四紀学会2017年度第3回評議員会が開催されます。

評議員のみなさまにおかれましては、ご出席の程、よろしくお願い致します。

なお、評議員および会長経験者の方には、後日、通知が送付されますので、出欠回答およびご欠席の場合には委任状の提出をお願い致します。

日時：2018年6月17日(日) 10:00～12:00

場所：日本大学文理学部3号館3202教室

議事(予定)：

- (1) 2018年学会賞・学術賞・若手学術賞の受賞者選考について
- (2) 2018年論文賞・奨励賞の受賞者選考について
- (3) 2018年功労賞の受賞者選考について
- (4) 2018年名誉会員候補者の選考について
- (5) その他

なお、評議員会終了後には、同じ建物内の近接した会場で、ミニシンポジウム「首都圏の地下を探る」を開催いたします。こちらへのご参加もよろしくお願い致します。

◆学生会員の皆さまへ「学生会員継続届け」提出のお願い（再掲）

日本第四紀学会では、学正会員は、毎年在籍中であることを「学生会員継続届け」として提出して頂くことになっています。

2018年度（2018年8月1日～2019年7月31日）を学生会員として継続希望される方は、A4判の用紙（様式自由・ワープロ使用）に、申請者の所属・学年・氏名・連絡先・指導教官氏名を明記のうえ、指導教官の署名または捺印を添えてお送りいただくか、有効期限が明記された学生証のコピーを**2018年6月30日（土）までに日本第四紀学会事務局まで郵送またはメール添付にてお送り下さい**。本届が提出されない場合は、2018年度第1回目会費請求時に、正会員会費にて会費請求がされますので、ご注意下さい。

また、日本学術振興会特別研究員（PD）や科学技術特別研究員などは通常会員となります。

問合先・送付先：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号
新宿ラムダックスビル 日本第四紀学会事務局
E-mail：daiyonki(at)shunkosha.com
TEL：03-5291-6231 / FAX：03-5291-2176

提出方法：郵便もしくはメール添付にてお送りください。

★★★ 第四紀通信に情報をお寄せ下さい ★★★

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。

広報委員長：百原 新 (arata(at)faculty.chiba-u.jp) 宛にメールでお送り下さい。

第四紀通信は奇数月月上旬原稿締め切り、偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報の速報性
ということから、版下が出来た段階でホームページに掲載するよう努力しています。

奇数月 15 日頃にはホームページにアップするようにしていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 千葉大学大学院 園芸学研究科 百原 新
〒 271-8510 千葉県松戸市松戸 648 FAX : 047-308-8720

広報書記：那須浩郎・糸田千鶴・奥村公弥子・岩本容子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーの PDF ファイル
を閲覧できます。

日本第四紀学会事務局

〒 169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル 10 階
株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com 電話 : 03-5291-6231 FAX : 03-5291-2176